

## 5. 住宅用火災警報器の普及啓発に向けて、各地で婦人防火クラブ員研修会を開催

### 越谷市婦人防火クラブ防災研修会を実施

埼玉県 越谷市婦人防火クラブ連絡協議会

越谷市婦人防火クラブ連絡協議会は、10月6日越谷市中央市民会館劇場において「平成17年度越谷市婦人防火クラブ防災研修会」を実施しました。

研修会には、クラブ員など約300名が参加し、講談師神田きらりさんを講師に、「講談 山内一豊」を演題として江戸大火や内助の功など、防火・防災の教訓を研修しました。

又、会場のロビーには住宅用火災警報器等の展示コーナーを設けたところ、多くのクラブ員が立ち寄り、住宅用火災警報器の設置場所などの質問が寄せられました。

研修会を通じて、交流を深め防火・防災の大切さを改めて自覚して、有意義な研修会を終了しました。



[▲ このページの上に戻る](#)

### 第10回仙南圏域婦人防火クラブ員研修会を開催

宮城県 仙南地域広域行政事務組合消防本部

去る10月19日、角田市市民センターにおいて、仙南地区婦人防火クラブ連合会及び仙南地域幼少年婦人防火委員会並びに財団法人日本防火協会との共催のもと、第10回仙南圏域婦人防火クラブ員研修会を開催しました。

第2部の防災講演会では、気仙沼消防署副参事兼副署長の吉田東様に新潟県で実際体験されたことの講演（『新潟県中越地震の体験から』～震度七の世界～）をいただきました。被災したときの生々しい体験談やその後の支援活動など、日頃の災害に対する備えの大切さと、地域の防火防災に対する自分達の果たす役割の大切さをあらためて感じました。

第3部ではAED（自動体外式除細動器）の使用法を消防職員による寸劇により学びました。参加したクラブ員からも大変分かりやすかったと好評でありました。婦人防火クラブ員によ



るアトラクションもおこなわれ、研修会を盛り上げました。

また、消防法改正により住宅用火災警報器等の設置が義務化され、家庭にも設置が必要になることを、婦人防火クラブ員を通じて住民に周知するため、防災に関する小冊子や、日本防火協会及び住宅防火対策推進協議会、(財)日本消防設備安全センターのリーフレットの配布並びに住宅用火災警報器展示コーナーを設けました。

設置場所等については、職員自作のドールハウスに火災警報器を取り付け、設置場所等についての説明を行いました。ビデオ上映もあり、参加した婦人防火クラブ員も、これからの高齢社会対策として、是非自分の家にも設置しなければと感じたことと思います。



🏠 [このページの上に戻る](#)

## 住宅用火災警報器設置の普及啓発（秋田県） ～平成17年度秋田県婦人防火研修会を終えて～

秋田県 秋田県婦人防火クラブ連絡協議会

平成17年度秋田県婦人防火研修会が、去る10月28日（金）に秋田県庁第2庁舎大会議室において開催されました。当日は、婦人防火クラブ員122名の他、消防本部や住宅防火に関連する機関の担当者が参加し、総勢189名による盛大な研修会となりました。

研修会では、秋田県婦人防火クラブ連絡協議会理事による研修会参加報告、消防庁予防課楠田国際規格対策官（兼）課長補佐からの御講演、横手市横手境町地区火災予防組合員による救命寸劇などが行われました。

特に御講演では、住宅用火災警報器の普及啓発について、詳しい説明がなされるとともに、クラブ員からも積極的に質問が出されるなど、大変有意義なものとなりました。今後、各クラブではこの講演で得た知識を、地域でのPR活動に生かしていくこととなります。なお、御多用中にも関わらず来秋のうえ、御講演くださった楠田課長補佐には、この場を借りて厚くお礼申し上げたいと思います。

また、救命寸劇については、家庭で起こりうる事例を基に、応急手当や普通救命講習の重要性を訴えるという比較的重いテーマでしたが、出演者の方言を交えたコミカルな演技が笑いを誘うなど、大変楽しいものとなりました。

研修会が大変な盛り上がりを見せた反面、秋田県では婦人防火クラブ数、クラブ員ともに減少傾向にあります。婦人防火クラブに求められる役割は、住宅用火災警報器に係るPR、高齢化社会への対応など近年増加しているため、今後は地域で積極的な活動を通じて、クラブ員の確保にも努めていきたいと思っています。





▲ このページの上に戻る

## 婦人防火クラブが研修会 -火災警報器の必要性などを学ぶ-

北海道 北海道少年婦人防火協議会

北海道内各地で防火活動に取り組んでいる、婦人防火クラブ指導者の研修会が、11月2日、札幌市の道民活動センター（かでの2・7）で開かれました。

研修会は、北海道少年婦人防火協議会（会長：高木繁光北海道消防協会会長）と北海道婦人防火クラブ連絡協議会（東館のり子会長）、財団法人日本防火協会の共催で開かれ、全道の婦人防火クラブ役員など約200名が出席しました。

研修会は、主催者・来賓挨拶の後、釧路市家庭防災推進員連絡協議会の花井淳子会長から、「火災予防は みんなの力で」と題して体験発表があり、「我が家から火事を出さない」を合言葉に釧路市独自の組織として市内に配置されている「家庭防災推進員」の活動について発表がありました。

続いて、総務省消防庁予防課の新倉隆士事務官による「住宅用火災警報器の普及啓発」についての特別講演を聞きました。新倉事務官は、パソコンやビデオによる映像を交えながら、住宅用火災警報器の必要性や、焼死事故防止効果、具体的な取り付け方法などについて詳しく説明しました。

北海道では、既存住宅への火災警報器設置義務化が、早い市町村では平成20年6月となっており、さらに、札幌市など石狩支庁管内では、台所への設置も義務化されることから、一般市民への啓発が急がれており、研修を受講した人たちもこれからの啓発活動の大切さなどを実感していました。



研修会の参加者は約200名



花井淳子さんの体験発表



消防庁新倉事務官の特別講演



熱心に聴き入る受講者

▲このページの上に戻る

## 目次

- [1. 平成17年\(1月～6月\)における火災概要\(概数\)](#)
- [2. 平成17年度 秋の叙勲](#)
- [3. 平成17年 赤坂御苑 秋の園遊会](#)
- [4. 総合防災訓練\(千葉会場・焼津会場\)](#)
5. 住宅用火災警報器の普及啓発に向けて、各地で婦人防火クラブ員研修会を開催
- [6. 自主防災組織リーダー研修会\(香川県・徳島県\)](#)
- [7. 平成17年度婦人防火クラブ員救急講習会](#)
- [8. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)
- [9. 第17回 全国女性消防操法大会](#)
- [10. 地方からの便り](#)
  - [11. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
  - [12. 日本防火協会からのお知らせ](#)